

日本発ドイツ便り : DB のもぐら

ドイツの列車の旅。ある統計によれば、2016年6月のDB（デーバー:ドイツ鉄道）の定刻発着率は91.7%。（ただ「定刻」の定義には時刻表の時間+5分59秒までが含まれています。）スイスを除くヨーロッパでは、この数字は驚きに値する高い数値なのですが、多くのドイツ人が「昔ほどドイツの列車が時間に正確ではなくなった」と感じているのも事実。

遅れの原因は、冬だったら積雪や洪水などの自然要因。残念なことに最近ではドイツでも人身事故が増えてきています。それ以外で、遅れの大きな原因になっているのが、全国規模で行われている鉄道の新設・改修の工事です。ある区間が遮断されていて、代替バスが出ていたり、イベントがあって、ある地点までの折り返し運転になっていたり、他の交通手段を使う必要があったりと結構ややこしいのです。

旅行者にとって注意が必要なのが、駅での情報ですが、これは駅に張り出してある黄色（出発時間）と白（到着時間）の時刻表を見ても分からないです。理由は、時刻表は1年に2回改訂されるだけなので、工事があるたびにアップデートして張り替えたりしないのです。

じゃあ情報はどこから??

ドイツで列車の旅、旅とは言わないでも列車で移動する場合、「?」と思ったら、まずは「もぐら」のポスターを探せ!!もしくは駅のインフォメーションで尋ねる。が正解です。（掲示されている情報の多くはドイツ語と英語の2か国語で書かれています）



DBで予定されている工事のスケジュールや、それともなう路線の変更等のお知らせをしてくれるのがこのモグラです。その名はMAX!

なので、駅ではまず「モグラのMaxを探せ!」なんです。

先日空港からいつものようにフランクフルト中央駅まで電車に乗って行ったのですが、いつもは地下の駅に到着するはずのS-Bahnが地上に到着。変だな?と思っていたらモグラを発見!

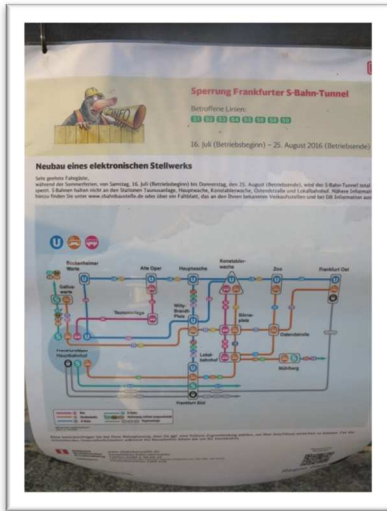
なんと夏休み期間中S-Bahnのトンネル内のケーブル工事のため、フランクフルト中央駅~中心部まで、S-Bahnが止まっていました（空港など、郊外に出る電車は運航中）。いくら「夏休み」でも1か月以上って長すぎませんか?

⊗

ちなみに、フランクフルトのS-BahnはS1からS9まで9路線あって、その内のHauptbahnhof（中央駅）を通る8路線が止まっている。たとえば、その規模というか影響範囲の大きさが分かるでしょうか?

フランクフルトは都会なので、中心部のS-Bahnが全部止まってもU-Bahn（地下鉄）、Strassenbahn（路面電車）、Bus（バス）がくまなく走っているの、いつもよりちょっと遠回りにはなるものの、大きな問題にはならないです。（一日乗車券を買えば、地域内のS-Bahnからバスまで乗り放題です）





こちらは工事期間中の振替輸送の詳細についての張り紙です。何処から何番のバスに乗るとか、分かり易く書かれています。

もぐらのMax 大活躍！

そんなこんなで、今回は、いつもはS-Bahnで地下を通る道をStrassenbahn(路面電車)で地上をちょっと遠回りしたおかげで、久しぶりの懐かしい風景も見られました。



何かと話題のECB(欧州中央銀行)本店はフランクフルトにありますよ。私、このユーロのマークの周りにある黄色の☆の数は、通貨ユーロ使用国の拡大とともに増えているんだ。と、なぜかずっと勝手に思い込んでいたのですが…。今2016年8月(左の写真)も、2004年7月に撮った右の写真も、全く数は一緒でした。☺もちろん「ユーロ」なので、Brexit(イギリスのEU脱退)だって関係ないですね。



最後の一枚は、意外とカッコ良くて、最近私の定点観測地に加わった、夜のFrankfurter Hauptbahnhof(フランクフルト中央駅)の正面入り口。そろそろ暮れ行く21:00頃の様子です。☺